

学校の教育目標 : 「ひとりひとりが 北斗の星」
 <くめざす学校像> ~ とともに学び、高め合う学校 ~

< 願う子どもの姿 >

学び合う : 自ら考え、仲間と追究する子	高め合う : 自他を尊重し、仲間と高め合う子	鍛え合う 心身ともに健康で、安全にくらす子
--------------------------------	----------------------------------	---------------------------------

< 学校方針の方針と具体的方策 > 学校の教育目標具現の立場に立つ「学級経営」「学年指導体制」の確立

学校の方針	中期の目標	今年度の取組目標	今年度の方策
-------	-------	----------	--------

1 「思考・判断・表現力」の育成

学び合う 全ての子供の学力向上と主体的な学びの育成 (大垣市教委研究指定 1/2年度)	①児童の「主体的・対話的な学習活動による深い学び」をめざした授業改善サイクルの確立	・一人一人の学習状況に応じた学力向上体制づくり。「北小の授業、これだけは」の実践・検証 ・自分の考えが確かに持てる、ねらいの明確な授業づくり。	・「ひとり学び」による足場を確かに持ち、ペアやグループ活動により、考えを確かにしたがり、深めたりする学習展開の工夫。 (わかる子供の割合 87%)
	②学びを高める学習活動の工夫改善	・わからない、できないことを、その日のうちに解決する指導と見届け。	・個々の解決方法や困り感に応じた指導 (そのままにしない指導 95%)
	③自ら見通しを持ち、課題解決する学び方の習得	・課題把握後に、一人一人が追究の道筋を立て、主体的に解決する。 (自分の必要な学び方や家庭学習がわかる)	◎「見通しを持って学習を始める導入」のある学習活動への転換 (自分で計画する児童 65%)

2 望ましい人間関係の育成

高め合う 異なった見方や考え方を認め、相手を尊重する心や態度の育成。 (人権教育指定校の実践をつないで)	④一人一人に居場所がある学級づくりをする。	・挨拶から始まる適切な日常会話(コミュニケーション)の習得と向上。「何時でも・何処でも・誰にでも」(校外内を問わず、身近な人との信頼関係の構築)	・心のこもった挨拶をします。 ・チクチク言葉をなくし、ほかほか言葉を増やします。 (学級全員に100%)
	⑤北小なかよし宣言の尊重と成果の評価。	・「北小はいいなあ」アンケートによる、いじめ・不登校の早期発見・早期対応。深刻な事案の未然防止。	・「北小なかよし宣言」に関連付けた目標の設定と学級財産作り。 (自分のすべきことがわかる 100%)
	⑥互いのよさを見つけ認め合う。	・温かな関わりから、お互いのよさを見つける活動を充実する。 (将来の夢や希望が持てる)	・自分ができる活動で、まわりの人の役立つ実感を持つ。 (自分に良い所がある100%)

3 安心・安全な学校づくり、危機管理意識の高揚

鍛え合う 子ども自身の危機意識の高揚と、回避方法の確実な理解及び実践。	⑦自分の命は自分で守る危機意識の醸成。	・危険事例を元に、発達段階に応じた危険に関わる知識理解と危険を避ける意識を高める。 (多様な想定で具体的に回避する訓練)	・地域連携の「命を守る訓練」の実施により、身の周りを観る目の成長と危機意識の高揚。 (正しい廊下・階段歩行 100%)
	⑧約束やきまりの意味の正しい理解。	・事故やトラブルの未然防止のため、集団生活や社会生活の約束やきまりを守る意識の高揚。 (児童・保護者の共通理解)	・友だちと助け合い、安心して生活するための「北小よい子の約束」の確実な遵守。 (児童・職員ともに交通事故 ゼロ)
	⑨健康な生活を続ける習慣と態度を育成する。	・心身の健康管理と、仲間と協力した心身共に健康的な学校生活の保持。(睡眠・食育・心の健康)	・規則正しい生活習慣と、病気、けがへの予防意識の高揚。(学年に応じた健康活動 82%)

4 家庭や地域との連携による生活の充実

保護者の思いや願いの受容と、地域・家庭への力強い情報発信。	⑩外部講師や地域施設を生かした活動推進。	・学校内外での教育活動に、保護者や地域の方々の協力を得て、安全かつ充実した活動を行う。	・地域人材・施設によるふるさと教育の支援 (地域人材学校支援体制 15%増)
	⑪保護者との定期的な懇談と共通行動の充実。	・学級懇談会・授業参観・集会参観の機会の充実に、学校理解と保護者連携を推進する。 ・PTA活動との連携による広報やHP更新と充実。	・保護者や地域の方々が、定期的に重点指導事項を理解いただける情報発信をする。 (学校教育活動の理解 90%)
	⑫学校・家庭・地域協働による教育の推進。	・子どもの学校生活状況や、保護者の困り感等に応じた定期的・継続的な教育相談の充実。	・ペアやチームで組織的に児童の学校生活や保護者の子育てを支援する体制づくり。 (悩みに対応できている教員 80%)

評価内容	学校方針評価	学校教育評価	保護者アンケート	学校関係者評価
評価者	職員	児童・職員	保護者	学校評議員・関係者
評価時期	各学期末	各学期末	各参観・参加時+2学期末	各学期末
評価方法	・学校方針についての項目を、点検・検証・改善	・教育課程、教育活動についての総括的な評価 ・次学期の改善事項を提示	・教育活動、家庭生活についての調査項目を評価 ・参観・参加時の実態で評価	・方途・達成値・諸評価結果の検証 ・指導改善サイクル実効性の評価 ・経営計画全般の評価
評価段階	5段階評価 最頻値	4段階評価 課題提示と改善提案	記述式評価 4段階評価	自校評価に関する意見討議 記述式評価